

各位

上場会社名	東京鋼鐵株式会社
代表者	代表取締役社長 南 良隆
(コード番号)	5448)
問合せ先責任者	常務取締役総務部長 新野 善行
(TEL)	0285-22-1335)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年8月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,900	2,880	2,900	1,560	89.56
今回発表予想(B)	20,000	3,000	3,000	1,660	95.31
増減額(B-A)	△7,900	120	100	100	——
増減率(%)	△28.3	4.2	3.5	6.4	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	18,950	2,359	2,383	1,382	79.39

修正の理由

通期の売上高は、世界景気の減速懸念や原料である鉄スクラップ価格の急落により、国内外の製品市況は急速に値下がりしております。韓国や台湾向けを中心に行なっておりました輸出は、海外市場の混乱が続いており、大幅な販売量の減少が避けられない状況であります。また、国内向けの販売につきましても同様の理由から販売量の減少が予想されますが、需要に見合った販売に徹し、市場の混乱が収まるまで地道な販売活動を行ないながら上積みを計る所存であります。以上のことから通期の売上高は、前回予想比79億円減収の200億円の見込であります。

営業利益につきましては、第2四半期実績が好調であったことや原材料である鉄スクラップ価格や合金鉄、A重油等の値下がり効果が、需給調整のため行なっている大幅な減産によるコスト増加を吸収できることから、前回予想比1億2千万円増加し30億円の見込であります。

経常利益及び当期純利益につきましても、営業利益と同様の理由から前回予想比をそれぞれ1億円増加し、経常利益は30億円、当期純利益は16億6千万円の見込であります。

なお、上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な不確定要素が内在しており、予想数値と異なる場合があります。

以上